

令和6年度 第1回 三島市介護予防・生活支援体制整備推進協議会 議事録

1 開催日時

令和6年6月26日(水) 13:30~14:40

2 開催場所

三島市役所 本庁舎2階 第2会議室

3 出席者

(1) 委員

亀田委員(座長)、大村委員(座長代理)、渡邊委員、下村委員、秋津委員、鈴木委員、野田(好)委員、大瀧委員、伊藤委員、野田(恵)委員、笹原委員、榎委員、笠原委員、遠藤委員(第2層コーディネーター)

(2) 事務局

鈴木副市長

<社会福祉部>

西川部長

<社会福祉部 長寿政策課>

石井課長、柿島副参事、勝俣副主任保健師、細谷第1層生活支援コーディネーター

4 会議の公開・非公開

公開

5 傍聴人

1人

6 会議の内容

(1) 依頼状交付

(2) 副市長挨拶

(3) 出席者自己紹介

(4) 座長及び座長代理選任

(5) 議題

ア 地域づくりと協議体の役割について

【事務局説明】

第1層生活支援コーディネーターから、地域づくりと協議体の役割について資料1に基づき説明

【質疑・応答】

(座長)

居場所やサロンの立ち上げ、継続について、皆さんの現状等はどうか。

(委員)

シニアクラブとして活動している。かつては三島市老人会連合会と言ったが、老人会という言葉を使わないようにしている。年を重ねても多くの人と会い、会話をしていくことが大事で、それはサロンや居場所を作る皆さんとねらいは一緒だと思う。しかし残念ながら家にこもり参加してこない人が多い。特に男性の参加が少ない。

また、役員のなり手がいないため継続できなくなるクラブが毎年ある。皆、活動を続けたい気持ちがあっても先頭に立つのは嫌だという。結果シニアクラブが減ってしまうという実情がある。

(座長)

私の地域のシニアクラブは会員が68人いて、活発に活動している。老人会という言葉は一切使っていない。6年前に立ち上げたカフェが進化してシニアクラブになっている。

(委員)

後継者を作るのはとても難しい時代だと感じる。

通いの場の活動の中で、南田町広場でラジオ体操やウォーキング、歌をやっていると町内関係なく参加したいという方がいて交流が生まれたことがとてもうれしかった。また、民生委員の活動をしていたところ順天堂大学の研修生に出会い、通いの場の活動のことを伝えると今度見に来たいという話があった。1人きりで孤独な人はいると思うが個人情報関係で訪問することは難しい。

日頃から地域で顔の見える関係を持ち、一人ひとりに声をかけていくことが大切だと感じている。

(委員)

今の居場所の活動が継続していくとシニアクラブになるのかなと話を聞きながら思った。

私も民生委員をやっているが、80歳代の体操の居場所を探している方に出会い明日参加する予定になっている。また、北上包括で認知症カフェをやっており2人来ることになっているがいずれも女性。男性はなかなか参加がない。どのように声をかければ男性が参加してくれるかが課題。

(委員)

女性は誘いやすく気軽に来てくれる。男性も声をかければ参加する人がいると思うのでぜひ声をかけてほしい。

(委員)

確かにカフェや居場所は女性の参加が多く、男性は少ない。カラオケなどを行うと男性の参加があるが、作業や会話だけとなると男性の参加は少ない。

また、複数の居場所に参加している人がいるので、その方を通じて横のつながりや情報交換ができいくといろんな場所に参加できるような声掛けがしていけるのではないかと考える。

(委員)

リーダーが男性で上手に運営しているところがあるのでそういうところにならって男性の参加者を増やしていくことも良いのではないかと。女性は話をするだけでも良いが、男性は目的がないと参加しないので、男性を引き付けるような目的を作れると良いと考えている。

(委員)

居場所には夫婦で参加する方もいるので奥さんと一緒なら参加するという男性もいる。これも1つの方法かと思う。

後継者不足の問題は第2層の協議体と協力しながらリーダーになれそうな方に声をかけてアプローチしていくことは大切だと思う。なかなか立候補する人はいない。

(委員)

社協で居場所づくりの支援をしていくにあたり、現在サロンの助成金の受付を行う中で担い手の

問題や参加者の減少の問題や移動の問題といった多くの問題があるという声は聞いている。

私も居場所に足を運ぶ中、男性が少ないことや来ていても男性だけで固まっている様子が伺えるので、社協としてどのようなサポートができるのか居場所の方や市、社協内でも連携を取りながら検討していきたい。

イ 第2層生活支援コーディネーターの活動について

【事務局説明】

第2層生活支援コーディネーターから、第2層生活支援コーディネーターの活動について資料2に基づき説明

【質疑・応答】

(委員)

ポッチャやみしまるっと体操に参加するととても楽しい。ただ、日程が合わないことがあるのが残念なのでもっと参加の機会があると良いと思う。地域支え合い会議も参加するようにしている。熱心な意見が出て情報交換の場になる有意義な会議なので回数を増やしてほしい。

(委員)

シルバーは就業につながる講習会などが多いが、最近はスマホ教室を多く開催していて参加希望者が多い。

(委員)

まるっと体操やポッチャ、スマホ教室などに指導に来てもらったが、参加者が多くて好評である。活動が第1月曜日・第3土曜日にある中で第3土曜日にまるっと体操を行っている。

(委員)

参加する人には楽しんでほしいが、社会福社会館まで行けない人もいるので指導に来てもらえるのはありがたい。ポッチャもノルディックも1回やるとみんなやりたがるが、自分が指導ができない状況。男性が来ないという課題もある。もっと自分自身勉強をしていきたい。

(委員)

お助けアルクの活動に助かっている。

閉じこもりの男性宅に行ってもらっているが、人との交流や集団は嫌だが話は聞いてもらいたいと月2回の訪問を楽しみにしている。そこから人と接することがうれしくなってどこかにつながってくれば良いと考える。

あと、ポイ活の講座について、お金に困っている方もいるのでお得情報が皆に伝わるのはありがたいと思う。

(委員)

街中に社協があることで高齢者にも紹介しやすく非常にありがたい。支え合い会議やサロン連絡会も職員が皆さんの声を聞く機会になるので参考になっている。

担当する南地区で何かイベントをやろうと思うと場所がない、あっても駐車場がないと言って場所の確保にすごく苦慮している。結局場所を見つけてもお金がかかり、人と場所の確保が活動の継続には課題になる。各地区で地域支え合い会議を同じテーマでやりながら、各地区の課題は違うと思う。2層の情報を得ながら一緒に進めていきたい。

(座長)

今は70歳でも仕事をしている人が多く平日は人が集まらないので

第2・第4日曜日に活動している。1日にカフェや健康体操、音楽教室、折り紙教室、ウォーキングなどいくつかの項目を行い、好きなものだけ参加してもらっている。

ウ その他

(座長)

今までの議題に関してや委員の皆様から議題にあげたいことがあるかについて問いかけた。

委員からの意見、質問

なし

7 事務連絡

8 閉会